

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：観光費 目：観光開発費

事業名 **新** デジタルツアーを活用した誘客促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 国内誘客係 電話番号：058-272-1111(内 3075)

E-mail：c11334@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,058 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,058	0	0	0	0	0	0	0	5,058
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルスの感染拡大によって、外国人観光客は当分の間見込めず、国内観光客も近場の旅行が主流となっている。一方、今後を見据えて、大都市圏へのプロモーションを継続して実施することは不可欠である。

そこで、現地へ行かなくても旅行気分が楽しめるオンラインツアーを、岐阜県観光を知ってもらう新たな手法として、プロモーションに活用するとともに、その後、現地を訪れる実際のツアーを企画することで誘客につなげる。

(2) 事業内容

①オンラインツアーを活用したプロモーション事業(5,058千円)

ZOOM等を活用したオンラインツアーを実施し、現地の人との交流を通じて岐阜県観光の具体的なイメージを持ってもらうとともに、実際に旅行商品として販売し、本県への誘客を促進する。

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県全域にまたがる国内誘客の推進は県の事業であり、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	5,058	オンラインツアーを活用したPR
合計	5,058	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす

(人を呼び込み、地域の消費を拡大するために)

岐阜県観光振興プラン

(2) 国・他県の状況

都道府県でオンラインツアーを活用したプロモーションを実施している例はない。

(3) 後年度の財政負担

閑散期における緊急的なコロナ対策であることから、後年度の財政負担はない。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 閑散期（5月～7月、12月～3月）と夏休み期間中の平日の県内宿泊者数をコロナ前（R1年度）と比較して100%以上にする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
観光消費の経済波及効果	億円 (H-)	4,601億円 (H28)	4,175億円 (H29)	4,172億円 (H30)	5,000億円 (R2)	83.4%
観光入込客数（実数）	万人 (H-)	4,696万人 (H28)	4,556万人 (H29)	4,603万人 (H30)	4,600万人 (R2)	100.1%
外国人延べ宿泊者数	万人 (H-)	101万人 (H28)	98万人 (H29)	102万人 (H30)	150万人 (R2)	68.0%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 コロナ禍の国内誘客対策として、OTA等による宿泊キャンペーンを実施した。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 国のGOTOトラベルキャンペーンもあり、OTAの9月の宿泊者数の実績は対前年比100%を超えた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	<p>新型コロナ影響でインバウンドが見込め中、国内宿泊を促進することは必須であり、事業者からの要望も強い。また、コロナ感染による影響も受けにくい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) —	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	<p>事務費等を最小限に抑える手法により実施している。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか コロナ禍における緊急措置であり、単年度事業である。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	<div style="text-align: right;">【○○課】</div>
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	